

2020年3月17日付韓国環境部プレスリリース

京畿（キョンギ）南部へのASF 拡散を遮断

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1354130&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

-京畿道（キョンギド）に現場状況室新設-

△江原道（カンウォンド）に続き、京畿道（キョンギド）にも ASF 現場状況室新設

-（背景）今般、1次広域フェンスに隣接した漣川（ヨンチョン）釜谷里（プゴンニ）で野生イノシシの ASF 感染が確認されたため、現場派遣による集中管理を要する。

-（運営期間/場所）'20.3.17（火）から1ヶ月間、京畿（キョンギ）道庁（議政府（ウイジョンブ））

-（構成）環境部、農食品部、国防部、行安部および地方自治体（京畿（キョンギ）道庁、漣川郡（ヨンチョンゲン）、抱川市（ポチョンシ）、楊州市（ヤンジュシ））で構成

-（主な任務）△死体捜索、△イノシシ捕獲および猟師管理、△フェンス設置、△農場遮断防疫など ASF 現場履行状況点検・管理

ASF 中央事故収拾本部（本部長キム・ヒョンス農林畜産食品部長官）は野生イノシシ ASF が継続して発生している京畿（キョンギ）北部境界地域の現場履行状況を総合管理するために'ASF 現場状況室'を江原（カンウォン）道庁に続き 3.17（火）から京畿（キョンギ）道庁に追加設置した。

京畿道（キョンギド）では、現在までにイノシシで ASF が 202 件発生し、最近坡州（パジュ）～鉄原（チョルウォン）区間の1段階広域フェンスから約 2.5km 離れた漣川郡（ヨンチョンゲン）釜谷里（プゴンニ）でも野生イノシシ ASF が 9 件発生しており、隣接する抱川（ポチョン）地域への拡散が憂慮される状況となっている。

漣川（ヨンチョン）に接している抱川（ポチョン）地域には約 163 戸の養豚農家があり、合計 30 万頭以上を飼育している。

これに伴い、中央捜査本は環境部・農食品部、国防部、行安部 4 部署と京畿道（キョンギド）・漣川郡（ヨンチョンゲン）・抱川市（ポチョンシ）・楊州市（ヤンジュシ）4 つの地方自治体から職員を派遣し、1ヶ月間現場状況室を運営する計画である。

現場状況室は漢灘江（ハンタンガン）以南地域のフェンス補強、死体搜索とイノシシ捕獲、猟師管理、農場単位遮断防疫措置など ASF 防疫対策の現場履行状況をもれなく管理していく計画である。

以上